

ChatGPT入門②

デジタル時代のマーケティング革新 ～"創造力"とChatGPTの融合～

2024年2月7日



公益財団法人 日本生産性本部
JAPAN PRODUCTIVITY CENTER



高橋佑輔（たかはしゆうすけ）

主任経営コンサルタント
高橋佑輔

【経歴】

秋田県出身。45歳。劇作家平田オリザのもと、全国で創作活動に携わる。その後、国会議員公設秘書、中小企業役員を経て、2018年より現職。創造的思考×サイエンスによる越境型のコンサルティングを展開。筑波大学大学院経営システム科学修了（経営学修士）。中小企業診断士、経営品質協議会認定セルフアセッサー。

【専門領域】

経営戦略、組織変容、マーケティングサイエンス、創造的思考、ロジカルシンキング。

【直近の指導実績（抜粋）】

大手金融業データ・ドリブンによる組織改革・DE&I推進を支援
大手ゼネコンのDXを支援
金融商品のNPS及びブランド認知調査とブランド戦略策定支援
大手金融機関の次世代リーダー育成プログラムの統括コーディネーター
企業内ビジネススクール講師（マーケティング、リーダーシップ、創造的思考力 等）

【受賞歴】

論文「旅館・ホテル業の付加価値向上のための科学的マーケティング手法の研究」
（経済産業大臣賞（第69回全国能率大会最優秀賞））

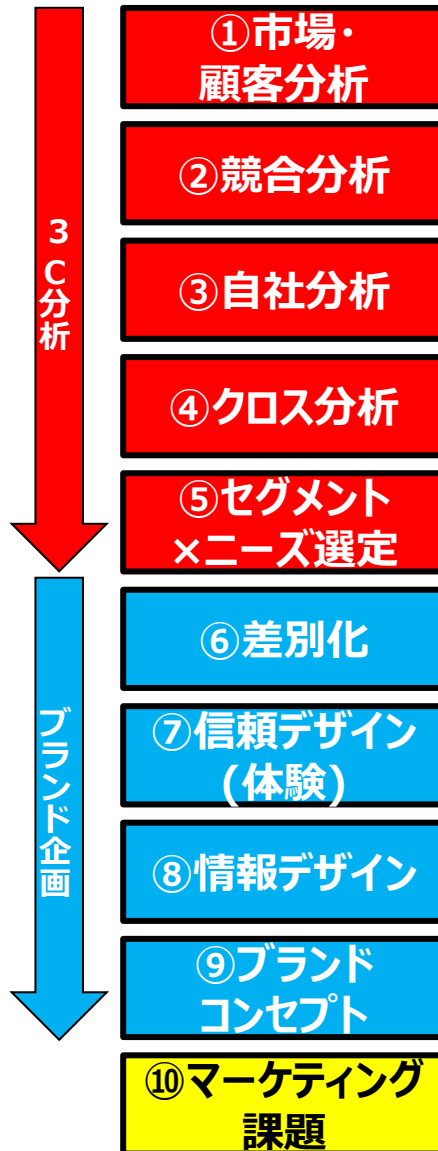
【書籍】

「15人の経営コンサルタントによる生産性向上策」（生産性労働情報センター）



ChatGPT凄いで！業務効率化だけではなく、戦略策定にも活用可能！
→詳しくは第一回目のアーカイブ動画へ！

■テーマ■
経営戦略の
相談相手として、
ChatGPTを
使う。
いわば、ChatGPTを
顧問コンサルタントに
してしまう！



戦略策定フェイズを
要素分解することで、
ChatGPTによる出力が
ブラックボックス化すること
を回避！

同時に、ハルシネーション
による「間違い」に気づく機会を増やせる

あわせて、
「人の感覚・意見」を
反映させるタイミング
を明確化し、
「当社にマッチした戦略」を
出力することを実現。



前回の振り返り。ChatGPTを使う事で業務効率だけではなく、経営戦略の策定もレベルアップ可能。課題は、どのように創造性を発揮させるか。

ChatGPTはかなり優秀な「戦略策定パートナー」であり、会話の進め方さえ妥当であれば（論理的であれば）、質問者の経営戦略の知識不足を補って「一定水準の戦略案」を生み出せます。今回示したChatフローをなぞれば、まるで専属の「経営コンサルタント」を雇った様な気になるでしょう！
これは驚くべき事です。経営資源が相対的に乏しい中小企業こそ、このツールを使い倒していただきたいです。

その反面、発想を飛躍させることは苦手なので、**戦略策定を全面的にGPTに依存した場合、「及第点前後のありふれた戦略」が出力される可能性が高いように感じます。**

GPTの力を存分に活用するには、質問者がGPTの代わりに「創造性」を発揮することがポイントです。

今回のプロンプトの中でも、「無茶振りな組み合わせ」等のテクニックで、GPTの出力に創造性を付与していますが、この辺りをもっと自覚的に行えるかどうか、**「GPTの活かし方」の鍵になるのではないのでしょうか？**



人は誰しも創造性をもっている

- 人は「創造性」を持っている。例えば、誰しも3歳児の頃は、木のブロックを重ねることで「お城」「宇宙」「ジャングル」「動物園」・・・などを自由に創造できた。





創造性を阻むもの

- 創造性とは、「日常を異化する」ことで生まれる。例えば、3歳児は木のブロックを「レンガ」「未知の金属」「森」「獣」に見立てて遊ぶ。3歳児にとって、「木のブロック」は何にでもなり得る「可能性の塊」である。
- しかし、年をとり、また社会生活を営むことで、我々は無意識の制約にがんじがらめになり、異化することに難しさを感じるようになる。つまり、創造性を発揮しづらくなっていく。「木のブロック」を「可能性の塊」と見ることは難しい。
- 社会生活ではルールと論理が重要視される。そこでは、「木のブロック」は「木のブロック」でなければいけない。





まとめると・・・創造性とは、「情報×組み合わせパターン」による出力

大人が強い！

3歳児が強い！

情報 × 組み合わせ

AIはどっちも強い！

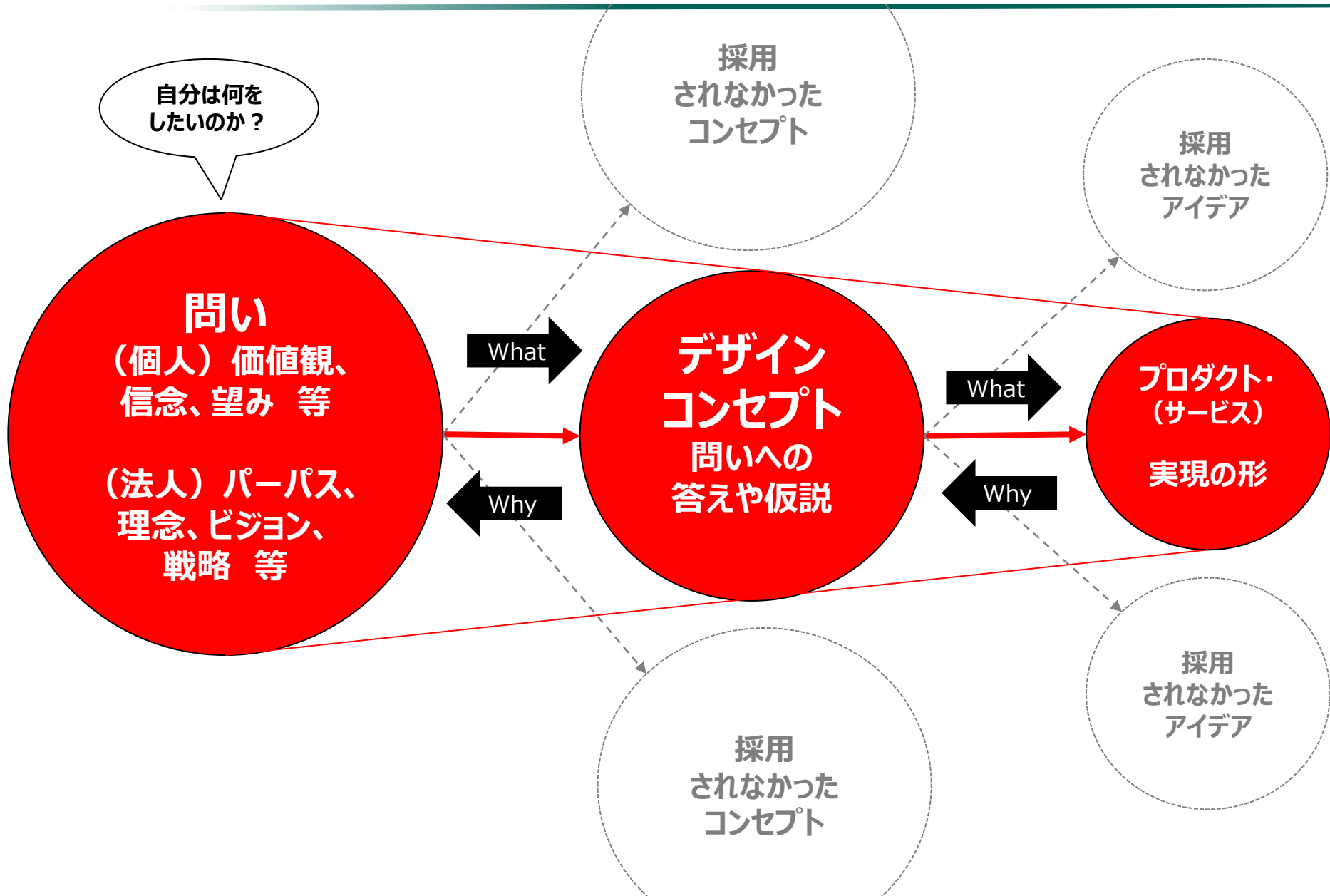
膨大な情報量×網羅的な組み合わせ力

それなら
AIは無敵か？
いや、
AIは
「問い」をもたない。





創造性を発揮するには、前提として「問い」がいる。問いは創造性を育てる大地である。その上で無数のコンセプトやプロダクトが生まれ、試行錯誤の中で形を整えていく。





世界を変えた問いの例（問いこそが創造を方向付け、また形作る）
「問い」はコンセプトやプロダクト・サービスを内包するため、抽象的な表現となる。

What

What

【問い】
貧困のない、
誰もが
生き活きと
生きられる社会は
できないだろうか
？

**【デザイン
コンセプト】**
低所得者による
経済的なチャンス
へのアクセスを
容易にする

【サービス】

**無担保・少額の
融資サービス**

グラミン銀行

Why

Why



「問い」があるからこそ、人はその問いに答えるために努力し、決断していく。
「問い」が世界を変え、人を幸せにし、社会を前進させている。未来を、「創造」する。

Believe in Progress !!





ChatGPTを使って機械的にアイデアを量産することは容易。しかし、そこからどのアイデアを選び出すかという判断は、「問い」をもたないAIの仕事ではない（行わせることはできるが）。





あらゆるビジネスマンがAIを使い始める時代では、創造性＝「問い」の差がビジネスの差になる。知識から創造性へ、ビジネスOSのアップデートが迫られる時代がきている。



問いの発見と育成① 芸術鑑賞・体験





A stage with multiple spotlights illuminating a large, glowing cloud on the floor. The spotlights are arranged in a grid pattern, creating a dramatic atmosphere. The cloud is the central focus, glowing with a bright, ethereal light. The background is dark, making the spotlights and the cloud stand out.

問いの発見と育成③ 演劇訓練を通じた自己理解・他者理解



ChatGPTとの対話で探る「問い」 価値観を通じた自己理解

- 自分はどのような存在でしょうか？何を動機に働くのでしょうか？すなわち、「問い」は何でしょうか？
- 下の「価値観シート」から、「大切にしたい価値観」を5つ選んでください（該当がなければ、36に自由記述で書き込む）。それをChatGPTに打ち込んで、その価値観を体現した著名人を推薦してもらいます。どんな人物が推薦されたでしょうか？
- 次はその人物に、色々と相談をしてみてください（例:私は～で悩んでいます。どうすれば良いでしょうか？）。ChatGPTはその人物の立場から、あなたに様々な助言を与えてくれます。

1 結果重視	7 誠実	13 透明性	19 オープン	25 ビジョン 実現	31 成長
2 効率	8 率直	14 挑戦	20 活力	26 実力主義	32 自律
3 コスト	9 正直	15 勇気	21 公正さ	27 個人の 尊重	33 協働
4 スピード	10 行動	16 多様性	22 信頼	28 人間性 尊重	34 安全
5 品質	11 卓越性	17 一体感	23 感謝	29 ワーク ライフバランス	35 楽しさ
6 顧客満足	12 厳しさ	18 熱意	24 付加価値	30 創造性	36 ()



相談してみた。

KI

あなた

偉人をたくさん知ってほしいような設定にしておく

あなたは #歴史、芸術、文学の領域で優れた知見をもつ学者 です。私があげる次の #価値観 を体現した著名人（過去の人物や伝説上の存在をふくむ）を5人あげてください。 #価値観 ・成長 ・誠実 ・挑戦 ・ビジョン実現 ・創造性

高橋が大事にしている価値観

ChatGPT

価値観「成長」「誠実」「挑戦」「ビジョン実現」「創造性」を体現した著名人を選ぶのは、多くの分野から多様な人物を選べる興味深い課題です。以下に、これらの価値観を体現したと考えられる人物を5人挙げてみます。

1. レオナルド・ダ・ヴィンチ - 創造性とビジョン実現

ルネサンス期の芸術家であり科学者のレオナルド・ダ・ヴィンチは、画家、彫刻家、建築家、音楽家、数学者、工学者、解剖学者、地質学者、地図製作者、植物学者、作家としての多才さで知られています。彼の創造性は、モナ・リザや最後の晩餐といった芸術作品に象徴されているほか、飛行機や潜水艦といった発明の概念図にも表れています。彼のビジョンは時代を超え、未来の技術やアイデアを予見していました。



2. マハトマ・ガンディー - 成長と誠実

インドの独立運動の指導者であるマハトマ・ガンディーは、非暴力と真実を重んじる生き方を通して、自らと周囲の人々の精神的、道徳的成長を促しました。彼の誠実さは、彼の行動と言葉の一貫性、そして自分自身とその価値観に対する深いコミットメントによって示されました。

3. スティーブ・ジョブズ - 挑戦とビジョン実現

アップルの共同創業者であるスティーブ・ジョブズは、技術とデザインの境界を押し広げることで知られています。彼は、市場に存在しない製品のビジョンを持ち、それを実現するための挑戦を恐れませんでした。

(中略)

KI

あなた

それでは、2の人物になりきって、私の相談にのってください。よろしいですか？

ChatGPT

もちろんです。マハトマ・ガンディーとして、あなたの相談にお答えします。どうぞお聞かせください。

KI

あなた

私の仕事は経営コンサルタントです。特に地方の中小企業に貢献したいと思っています。ですが、地方の中小企業は財務基盤が弱く、私の報酬をまかなえません。かといって、私の報酬を抑えることは、家族の生活や未来を脅かします。私はこの報酬の問題を、どう解決すれば良いのでしょうか？

この箇所は、
あくまでネタですよ

ChatGPT

私の生涯を通じて、私はしばしば困難な選択に直面しました。それらの経験から学んだことは、誠実さと自己犠牲の精神が、最も厳しい課題にも対処する鍵であるということです。あなたが直面している問題についても、この精神を念頭に置くことが重要です。

まず、あなたの内なる声に耳を傾け、あなた自身の価値観と目標に忠実であることが大切です。地方の中小企業を支援するというあなたの願いは、非常に高い理想を示しています。しかし、それを実現するためには、実用的かつ持続可能な方法を見つける必要があります。

一つの提案として、異なる収益モデルを検討することが挙げられます。例えば、成功報酬型のアプローチを取り入れることで、企業の成長と共にあなたの報酬も増えるようにすることができます。また、サービスの一部をグループセミナーやワークショップの形で提供することで、複数の企業から同時に収益を得ることが可能になります。

さらに、公的な補助金や支援プログラムを活用することも一つの方法です。地方の経済発展を目指す政府や非営利団体からの支援を受けることで、あなたのサービスの一部を賄うことができるかもしれません。

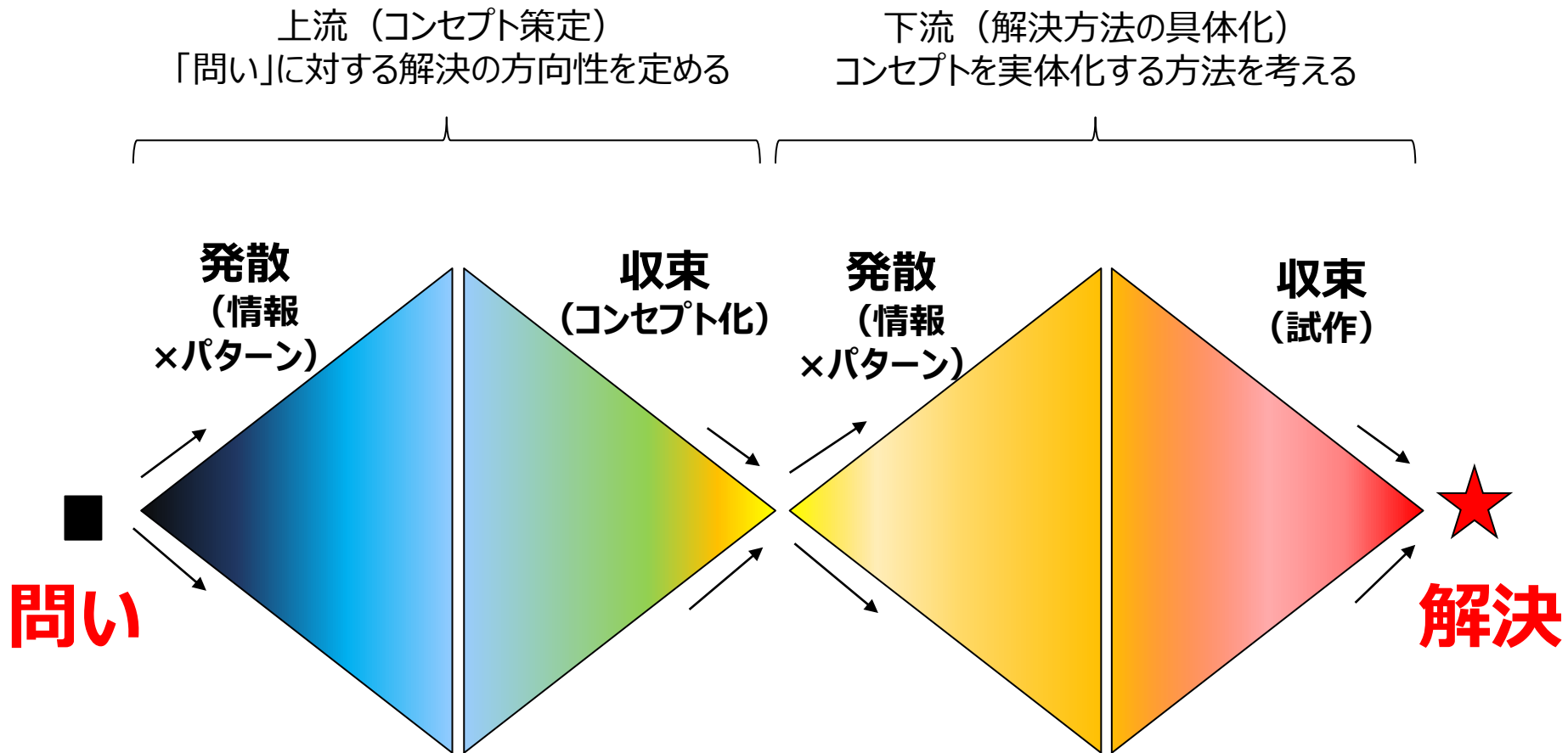
最も重要なことは、あなたの家族と十分に話し合い、あなたの決断が彼らにどのような影響を及ぼすかを理解してもらうことです。家族はあなたの強さの源であり、彼らの支援があれば、より良い解決策を見つけることができるでしょう。



(以下、略)



あなたの問いを起点に、ChatGPTを使って創造性を発揮する！
創造的思考の「ダブル・ダイヤモンド・モデル」



上流と下流で発散と収束が繰り返される。

下流の方がサービスや製品の実体化に近づくため、必要とされる情報の質は、「専門性」が高まる。



GPTは「発散」も「収束」も得意。(発散) アイデアを100個あげてください。
(収束) 良いアイデアを5つ選んでください……でも、良いアウトプットはでる。しかし！

問題

**出力の過程がブラックボックス化する
= 組織の中で再現性のある形で残らない**

問題

**出力の過程に関与できないため、
「人の創造性」を付与する機会が失われる**



2つの問題を乗り越えるため、「発散」と「収束」の型を作り、
前回同様「人の感覚・意見」を反映させるタイミングを明確化（白囲み）」する！

■ 発散の型 ■

（「情報×組み合わせパターン」に
よってアイデアを膨らませます）

創造の対象（例：新商品）と、そこに
反映したい「モチーフ」（イメージ、体
験、感情、参考例など）を指示する

モチーフの特徴や連想される要素を
出力させる。この時、自分の考えるモ
チーフの「特徴等」の情報も与える

創造の制約条件（自社の経営資源
や競争優位性をもたらしている要因な
どの情報）を与える

GPTに指示して、「創造の対象」に「モ
チーフの特徴や連想される要素」を組
み合わせてアイデアを膨らませる

アイデアの品質がイマイチであれば、
「もっと提案して」とリクエストしたり、
「自分のアイデア」を投げ込んでみる

この手法をメタ
ファーと言います。
プロンプトでは、
「メタファーの手法
を使う」ことと「モ
チーフの指定」を行
えば、自動的にアイ
デア出しまで行って
くれます。
ただ、その場合は出
力がブラックボック
ス化しやすいことと、
人のアイデアを付与
するタイミングが分
かりづらいことから、
今回は、細かく指示
する形のプロンプト
を掲載します。

■ 収束の型 ■

（「問い」を意識してアイデアを選別
させる）

2軸図で評価するため、「問い」を意識
して、「選別」の基準を2つ決める
（例：革新性と実現可能性）

GPTに対して、アイデアを
「選別の基準」に則って評価させる

10個程度のアイデアに絞り込む
（自分でやっても良い、
GPTに指示しても良い）

GPTにアイデアの改善を指示する。こ
の時、自分が重視する要素（例：革
新性）をより高めるように指定する

アイデアの品質がイマイチであれば、
「もっと提案して」とリクエストしたり、
「自分のアイデア」を投げ込んでみる

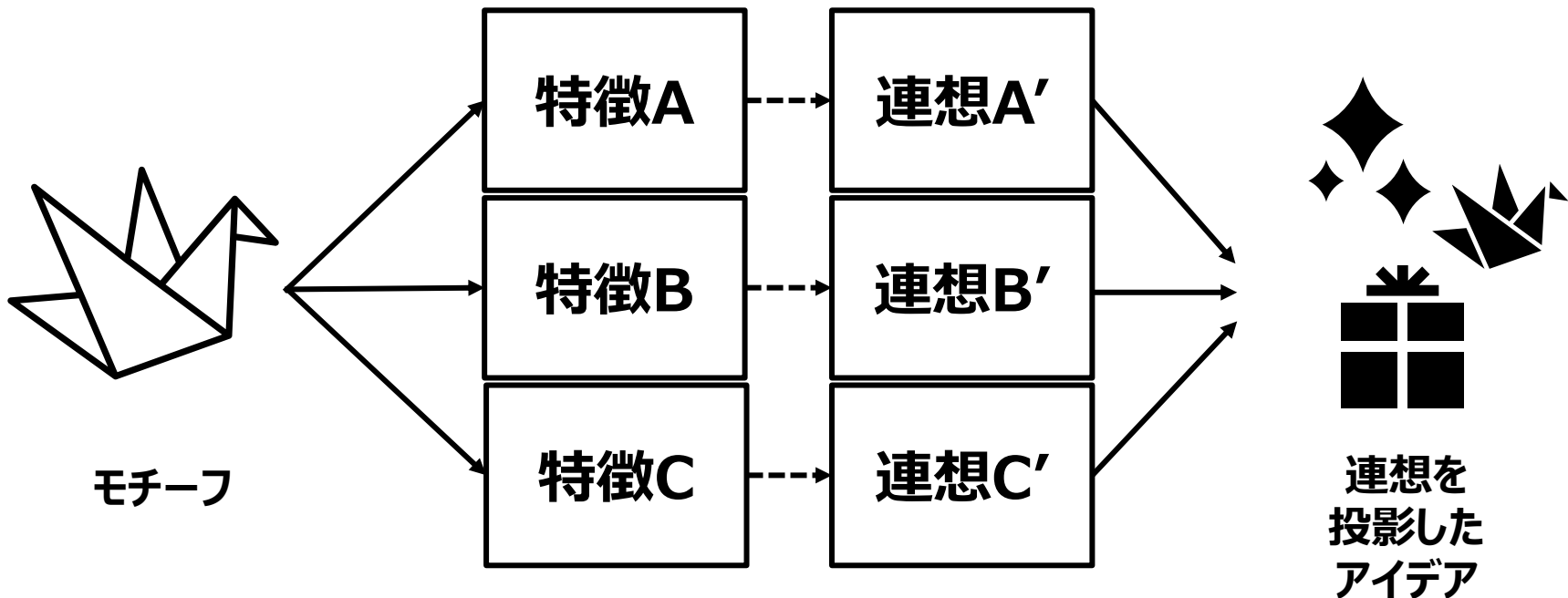
この手法は
C-BOXと言
います。
2軸図で整
理して終わ
り、ではな
く、そこら
う工夫凝ら
していくこ
とがポイント
です。



メタファー型発想法の説明

手順

- ① 企画の参考になる「モチーフ」を特定し、その特徴を抽出する
- ② 特徴をもとに連想することで、最終的なアイデアに使える選択肢を膨らませる
- ③ 選択肢を取捨選択してアイデアの形に整理する



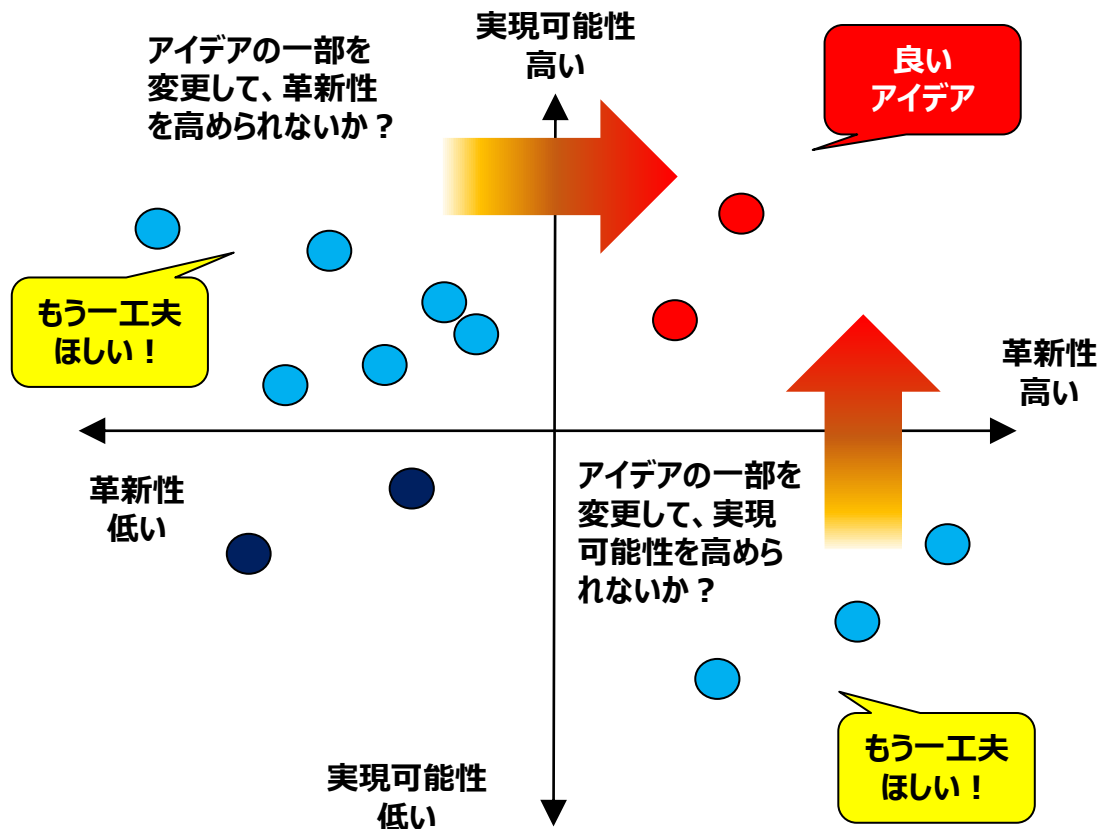
秋田県の観光土産を作りたい。
→モチーフ「秋田県の魅力」

特徴:雪国

連想:冬の日本海

:アイデア「漁師の落雷スープ」:
荒れる日本海で勇ましく漁をする漁師たちが、極寒の冬を跳ね返すために食べるスープを商品化！受験勉強のお供どうぞ！

C-BOX



手順

- ① アイデアの選別で重視する内容を踏まえ、任意の軸（左例では革新性と実現可能性）で2軸図を作る
- ② 2軸図にアイデアをプロットする。基本的には相対評価ではなく絶対評価とする。「中央値」の基準を事前に決めておく。
- ③ すべてのアイデアをプロットし終わったら、「革新的でもなく実現可能性も低い案」以外について、**アイデアの一部を変更すること**で、革新性や実現可能性を高められないかを検討する。



デモ 東北A県の中小企業（菓子製造業）が、
地域の観光資源を活かした観光土産の開発に挑む！！





拡散のプロンプト メタファー型アプローチ (1/3)

あなた

当社は焼き菓子や煎餅を作っているメーカーです。その技術を活かして新しい観光土産を作りたいと思います。モチーフは #モチーフ です。モチーフの魅力や特徴を列挙してください。

#モチーフ

・秋田県魅力を伝える観光土産

モチーフを提示すると、そこから連想される事を列挙してくれます。

何をモチーフに選ぶのか？は企画者にとって重要な「問い」です。**このデモでは、企画者は「地域の魅力をどうやって発信しよう？」という問いをもっています。**

「問い」は漠然としていても構いません。このデモでも、「秋田の魅力」を発信したいとは思っていますが、「秋田の魅力って何？どんな魅力を発信したいの？」と言うところは曖昧な状態です。

曖昧な問いから発信しても、GPTが具体化を手伝ってくれます。

ChatGPT

秋田県をモチーフにした新しい観光土産を考える際には、その地域固有の魅力や特徴を活かすことが重要です。以下に秋田県の魅力や特徴を列挙し、それらを焼き菓子や煎餅のデザインやフレーバに取り入れるアイデアを提案します。

- 1. 自然の美しさ:** 秋田県は日本海に面し、豊かな自然に囲まれています。特に知られているのは、神秘的な美しさを持つ田沢湖や、秋になると紅葉が美しい秋田駒ヶ岳などです。これらの自然景観をパッケージデザインや焼き印に取り入れることで、秋田県ならではの美しさを表現できます。
- 2. 伝統文化:** 秋田県には、竿燈（かんとう）祭りやなまはげなどのユニークな伝統文化があります。これらの文化的要素をモチーフとして用いることで、土産品に地域色を強く反映させることができます。例えば、なまはげの形をしたクッキーや、竿燈祭りをイメージしたカラフルな煎餅などが考えられます。
- 3. 食文化:** 秋田県は、きりたんぼ鍋やいぶりがっこなど、独特の食文化を持っています。これらの食材や味を取り入れた焼き菓子や煎餅は、秋田県ならではの味わいを観光客に提供できるでしょう。例えば、いぶりがっこの風味を生かしたクラッカーや、きりたんぼ鍋の味を模した煎餅などが挙げられます。
- 4. 美しい四季:** 秋田県は四季折々の風景が美しく、特に秋の紅葉は有名です。季節ごとに異なるパッケージデザインを用意することで、一年を通じてさまざまな顔を見せる秋田県の魅力を伝えることができます。春は桜、夏は緑豊かな風景、秋は紅葉、冬は雪景色をイメージしたデザインが考えられます。
- 5. 歴史的建造物:** 秋田県には歴史的な城や神社仏閣が多くあります。これらの建造物をモチーフにした土産品は、秋田県の歴史や文化を感じさせるアイテムとなります。例えば、角館の武家屋敷をイメージした焼き菓子セットや、秋田藩主の居城だった久保田城をモデルにした煎餅などが挙げられます。

これらの魅力や特徴を生かした商品は、観光客に秋田県の多面的な魅力を伝え、記憶に残る土産となるでしょう。



拡散のプロンプト メタファー型アプローチ (2/3)

KI あなた
それに加えて、# 秋田の自然の連想 も考慮します。全部を一覧化してください。

秋田の自然の連想

- ・厳しい冬と温かい春
- ・明と暗
- ・忍耐力
- ・生命力
- ・雪

GPTにアイデアを任せきりにせず、**どんどん自分のアイデアも投げていきましょう！**ここでは、「秋田の自然」から連想されるキーワードを投げ込んでいます。**GPTとアイデアを共創することは、企画開発のOJTにもなります！**

ChatGPT

秋田県の魅力や特徴、そして秋田の自然から連想される要素を考慮して一覧化すると、以下のようになります。これらの要素を活かして、観光土産としての焼き菓子や煎餅をデザインすることができます。

1. 自然の美しさ
 - ・日本海に面した豊かな自然
 - ・神秘的な田沢湖
 - ・紅葉が美しい秋田駒ヶ岳
2. 伝統文化
 - ・竿燈（かんとう）祭り
 - ・なまはげ
3. 食文化
 - ・きりたんぼ鍋
 - ・いぶりがつこ
4. 美しい四季
 - ・春の桜
 - ・夏の緑
 - ・秋の紅葉
 - ・冬の雪景色
5. 歴史的建造物
 - ・角館の武家屋敷
 - ・久保田城

6. 秋田の自然の連想

- ・ 厳しい冬と温かい春：季節の移り変わりを感じさせるデザインや、冬をイメージした雪の結晶形のクッキー、春をイメージした桜風味の焼き菓子など。
- ・ 明と暗：パッケージデザインに昼夜の対比を取り入れたり、明るいフレーバーと深みのあるフレーバーを組み合わせた商品など。
- ・ 忍耐力：秋田の厳しい自然環境を生き抜く力をイメージした、噛み応えのある煎餅や、時間をかけて楽しむ焼き菓子セットなど。
- ・ 生命力：新鮮な緑や花々をイメージしたビビッドな色使いのパッケージや、自然の恵みを感じさせるナッツやドライフルーツを使用した商品など。
- ・ 雪：秋田の冬を象徴する雪をモチーフにしたデザインや、シュガーパウダーを使った雪のように見える焼き菓子など。

これらの要素を組み合わせることで、秋田県の自然と文化の豊かさを感じさせる観光土産を作り出すことができます。それぞれの特徴を活かした商品開発によって、訪れる人々に深い印象を残し、秋田県の魅力を広く伝えることができるでしょう。

投げ込んだアイデアをGPTが解釈して、「こんな感じ？」と返答してきました。もし違和感があれば、何度も修正しましょう。

今回はデモなので、あまり深掘りせず次に進みますね。



拡散のプロンプト メタファー型アプローチ (3/3)

メタファーの手法を指定します。「アイデアから連想される観光土産」のように書いても大丈夫です。

あなた

以上のアイデアについて、メタファーの手法を用いて観光土産のアイデアを30個提案してください。
尚、次の # 当社の経営資源 および # 開発条件 を踏まえて提案してください。

経営資源

- ・焼き菓子および煎餅製造の技術は高い
- ・従業員はパート・アルバイトを含めて20人ほど
- ・製造に必要な設備は揃っているが、自動機の類いはほとんどなく、手作業が欠かせない。
- ・販路は県内スーパー、小売店が主であり、県外にはほとんど流通していない

開発条件

- ・観光客向けの製品であること
- ・地域（秋田県）の観光資源を活かすこと
- ・大きな設備投資が不要であること

ここでアイデアの
制約条件を示します。
具体的に示しましょう。

ChatGPT

秋田県の観光資源を活かし、焼き菓子や煎餅の製造技術を基にした観光土産のメタファーのアイデアを30個提案します。これらのアイデアは、手作業中心の製造プロセスと既存の販路を考慮しつつ、地域の特色を生かした商品です。

1. なまはげクッキー: 秋田の伝統的ななまはげを形取った手作りクッキー。
2. 竿燈ラスク: 竿燈祭りの竿燈をイメージしたラスク。
3. 秋田犬ワッフル: 秋田犬の形をしたワッフル。
4. きりたんぼスナック: きりたんぼ鍋をイメージした形のスナック。
5. 稲庭うどん風ビスケット: 稲庭うどんを模した細長いビスケット。
6. 曲げわっぱ木目プリントクッキー: 曲げわっぱの木目をプリントしたクッキー。
7. 田沢湖ブルーのジェリービーンズ: 田沢湖の青をイメージしたジェリービーンズ。
8. 男鹿半島ショートブレッド: 男鹿半島の形をしたショートブレッド。
9. 四季折々の風景マカロン: 秋田の四季を表す色とフレーバーのマカロンセット。
10. 雪の結晶キャンディ: 冬の秋田を象徴する雪の結晶形のキャンディ。
11. 温泉まんじゅう風ケーキ: 秋田の名湯をイメージしたまんじゅう風ケーキ。
12. 竹細工デザインの煎餅: 角館の竹細工を模したデザイン煎餅。
13. 秋田の夜空星形クッキー: 秋田の美しい夜空をイメージした星形クッキー。
14. 生命カスプラウトビスケット: 新芽や芽吹きをイメージしたビスケット。
15. 忍耐カシノボルのパイ: 秋田の自然に耐える力を表すシンボルをデザインしたパイ。
16. 明暗コントラストチョコレート: 明るい白と暗い黒のチョコレートを組み合わせたセット。
17. 秋田内陸の風景エンボスクッキー: 秋田内陸の風景をエンボス加工したクッキー。
18. 秋田の伝説ストーリーブッククッキー: 地元の伝説を描いた小さなブック型クッキー。

19. 秋田山脈マウンテンブレッド: 秋田の山脈を模したパン。
20. 四季の変化を表すフルーツケーキ: 春夏秋冬をそれぞれ表すフルーツケーキセット。
21. 温泉水で作ったスチームケーキ: 秋田の温泉水を使用したふわふわのスチームケーキ。
22. 秋田の伝統色使用のアイシングクッキー: 地元の伝統色を使用したアイシングで飾られたクッキー。
23. 紅葉デザインのパイ: 秋田の美しい紅葉をイメージしたパイ。
24. 冬の雪景色ケーキ: 雪をイメージしたホワイトチョコレートでコーティングされたケーキ。
25. 秋田方言メッセージクッキー: 地元の方言でメッセージを入れたクッキー。
26. 秋田の歴史絵巻ビスケット: 秋田の歴史を描いた絵巻物をイメージしたビスケット。
27. 湖畔の風景ジンジャーブレッド: 秋田の湖畔を描いたジンジャーブレッド。
28. 秋田のサクラチップクッキー: 春の桜をイメージしたチップが入ったクッキー。
29. 冬の温もりホットチョコレートキット: 冬の寒さを和らげるホットチョコレートセット。
30. 秋田の民話シリーズショートケーキ: 地元の民話をテーマにしたショートケーキシリーズ。

これらのアイデアは、秋田県の自然、文化、伝統を反映しつつ、既存の製造設備と技術、販路を最大限に活用することを目指しています。秋田県の観光客に向けて、地域性を感じられるユニークな土産品を提供することで、より多くの人々に秋田の魅力を伝えることができるでしょう。

とりあえず30個のアイデアを出してみました。
イマイチだな、と思ったら、もっとアイデアを要求しましょう。

アイデアはたくさん膨らまして（拡散して）から、絞り込みます。
ここまでが拡散のフェイズです。



収束のプロンプト C-BOX (1/4)

あなた

私が望むのは、# 秋田の魅力伝える観光土産 です。他の地域にはない「魅力」を伝える、と言う事が大事です。ここまでの30個のアイデアを、# 魅力度 と # 実現容易性 の2つの視点で評価してください。評価は10段階で行い、点数が高いほど優れているとします。

アイデアを絞り込むために、評価基準を与えます。ここでは、「問い」にしたがって、「魅力度」を重要な基準として与えます。

ChatGPT

こちらの30個のアイデアを「魅力度」と「実現容易性」の2つの視点で評価します。評価は1から10までのスケールで行い、10が最も優れているとします。

魅力度

魅力度は、そのアイデアが秋田県のユニークな魅力をどれだけ効果的に伝えるかに焦点を当てて評価します。

実現容易性

実現容易性は、既存の設備と技術、従業員のスキル、手作業の必要性などを考慮し、どれだけ現実的に製造が可能かで評価します。

アイデア番号	アイデア名	魅力度 (1-10)	実現容易性 (1-10)
1	なまはげクッキー	9	8
2	竿燈ラスク	8	7
3	秋田犬ワッフル	9	6
4	きりたんぼスナック	7	8
5	稲庭うどん風ビスケット	6	7
6	曲げわっぱ木目プリントクッキー	7	5
7	田沢湖ブルーのジェリービーンズ	8	4
8	男鹿半島ショートブレッド	7	6

(中略)

16	明暗コントラストチョコレート	7	7
17	秋田内陸の風景エンボスクッキー	8	5
18	秋田の伝説ストーリーブッククッキー	9	4
19	秋田山脈マウンテンブレッド	7	6
20	四季の変化を表すフルーツケーキ	8	5
21	温泉水で作ったスチームケーキ	6	5
22	秋田の伝統色使用のアイシングクッキー	7	6
23	紅葉デザインのパイ	8	7
24	冬の雪景色ケーキ	9	6
25	秋田方言メッセージクッキー	7	8
26	秋田の歴史絵巻ビスケット	8	5
27	湖畔の風景ジンジャーブレッド	7	6
28	秋田のサクラチップクッキー	7	7
29	冬の温もりホットチョコレートキット	8	6
30	秋田の民話シリーズショートケーキ	9	4

この評価は、アイデアのユニークさ、秋田県の文化や自然の特徴をどれだけ表現しているか、そして製造における実現可能性を基にしています。高い魅力度を持つアイデアは、秋田県の特有の文化や自然を強く反映しているものです。一方、実現容易性が高いものは、既存の製造設備と技術、手作業を必要とするプロセスで容易に生産できるアイテムです。

名称だけだと分からない
な・・・と言う場合は、「アイデアの概要を併記してください」のように指示すると良いです。



収束のプロンプト C-BOX (2/4)

あなた
 魅力度が高い順に、上位10個のアイデアをリストにしてください。また、#魅力度 と #実現容易性 の2つのスコアと、アイデアの詳細を追記してください。

アイデアを絞り込みます。今回はGPTにやってもらいます。

ChatGPT
 魅力度が高い順に上位10個のアイデアをリストアップし、それぞれの魅力度と実現容易性のスコア、およびアイデアの詳細を追記します。

1. なまはげクッキー

- 魅力度: 9
- 実現容易性: 8
- 詳細: 秋田県の伝統的ななまはげを形取った手作りクッキー。秋田の文化を象徴するモチーフとして、観光客に強い印象を与える。

2. 秋田犬ワッフル

- 魅力度: 9
- 実現容易性: 6
- 詳細: 秋田犬の形をしたワッフル。秋田犬は秋田県の象徴であり、その形を模したワッフルは観光客にとって魅力的な土産となる。

3. 四季折々の風景マカロン

- 魅力度: 9
- 実現容易性: 5
- 詳細: 秋田の四季を表す色とフレーバーのマカロンセット。秋田県の自然の美しさを四季折々のマカロンで表現。

4. 秋田の伝説ストーリーブッククッキー

- 魅力度: 9
- 実現容易性: 4
- 詳細: 地元の伝説を描いた小さなブック型クッキー。秋田の伝説や物語を伝えるユニークな方法として、観光客の記憶に残る。

5. 冬の雪景色ケーキ

- 魅力度: 9
- 実現容易性: 6
- 詳細: 雪をイメージしたホワイトチョコレートでコーティングされたケーキ。秋田の冬の風情を味わい深いケーキで表現。

6. 秋田の民話シリーズショートケーキ

- 魅力度: 9
- 実現容易性: 4
- 詳細: 地元の民話をテーマにしたショートケーキシリーズ。秋田の豊かな文化遺産を紹介し、観光客に伝統と物語を提供する。

7. 竿燈ラスク

- 魅力度: 8
- 実現容易性: 7
- 詳細: 竿燈祭りの竿燈をイメージしたラスク。秋田県の夏の風物詩である竿燈祭りをモチーフにしたお菓子は、祭りの雰囲気を再現。

8. 田沢湖ブルーのジェリービーンズ

- 魅力度: 8
- 実現容易性: 4
- 詳細: 田沢湖の美しいブルーをイメージしたジェリービーンズ。秋田の自然美を象徴する田沢湖の色を、味わい深いスイーツで表現。

9. 雪の結晶キャンディ

- 魅力度: 8
- 実現容易性: 7
- 詳細: 冬の秋田を象徴する雪の結晶形のキャンディ。秋田の冬の美しさを表す雪の結晶をモチーフにしたキャンディは、視覚的にも美しい。

10. 秋田の夜空星形クッキー

- 魅力度: 8
- 実現容易性: 6
- 詳細: 秋田の美しい夜空をイメージした星形クッキー。秋田の清らかな夜空の魅力を、星形のクッキーで表現し、夜の静寂と美しさを伝える。

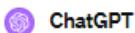
これらのアイデアは秋田県の独特な文化、伝統、自然を反映しており、観光客に対して強い印象と記憶に残る体験を提供することを目指しています。また、実現容易性も考慮し、既存の設備と技術を活用しつつ、地域の素材やテーマを生かした商品開発を提案しています。



収束のプロンプト C-BOX (3/4)

- KI あなた
四季折々の風景マカロン のアイデアが良いです。但し、地域の魅力を伝えると言う点では弱い気がします。 # 実現可能性を大きく下げず # 地域の魅力をより一層伝えられるアイデア を出してください。

「問い」に妥協しないでください。AIは何度でもやり直しに応じてくれます。どんどんリクエストしましょう。



ChatGPT

「四季折々の風景マカロン」のアイデアをベースにしつつ、地域の魅力をより強調し、実現可能性を大きく下げない改善案を以下に提案します。

改善案: 秋田の名所風景マカロン

アイデアの概要:

この改善案では、秋田県の四季折々の風景だけでなく、具体的な名所や文化イベントをマカロンのデザインに取り入れます。秋田県内の有名な観光地や自然景観、文化行事をイメージしたマカロンのセットを作り、それぞれのマカロンに秋田県の特定の名所やイベントを反映させることで、地域の魅力をより具体的に伝えます。

具体的なマカロンのデザイン:

1. **春 - 角館の桜:** 角館の武家屋敷の桜並木をピンク色のマカロンで表現。桜の花びらを模したデコレーションをトッピング。
2. **夏 - 竿燈祭り:** 竿燈祭りの光り輝く竿燈をイエローやオレンジ色のマカロンで再現。光のグラデーションを表面に施す。
3. **秋 - 秋田犬と紅葉:** 秋田犬をシルエットで表したマカロンに、紅葉の色合いを取り入れたデザイン。
4. **冬 - 田沢湖の冬景色:** 田沢湖の冬の静寂と雪景色をホワイトとブルーのマカロンで表現。湖面の透明感をアイシングで再現。

実現可能性の維持:

- 既存のマカロン製造技術を活用し、色やトッピングでデザインを差別化。
- 地元の食材やフレーバーを取り入れることで、秋田の味も同時に伝えます。
- パッケージデザインに各マカロンのインスピレーションとなった名所やイベントの写真や説明を加えることで、観光客への情報提供としても機能させる。

このアプローチにより、観光客は秋田県の名所や文化を味わいながら視覚的にも楽しむことができ、地域の魅力をより深く体験することが可能になります。また、実現可能性は既存のマカロン製造プロセスに大きな変更を加えずに、デザインの工夫と地元素材の活用によって維持されます。

対話の中で新しいアイデアが思い浮かぶこともあるでしょう。それをGPTに投げかけることで、創造性が向上します。



あなた

このお土産を買った人が、プレゼントした相手と秋田の話題で盛り上げられるような仕掛けを提案してください



ChatGPT

秋田県の名所や文化をテーマにしたマカロンをプレゼントした人と受け取った人が秋田の話題で盛り上げられるような仕掛けを提案します。

1. インタラクティブなパッケージデザイン

パッケージにQRコードを設置し、スマートフォンでスキャンすると、各マカロンが表現する秋田の名所やイベントに関する短いストーリーや動画にアクセスできるようになります。例えば、角館の桜についての美しい春の映像や、竿燈祭りの迫力あるパフォーマンスのクリップなど、見て楽しめるコンテンツを提供します。

2. 秋田の名所探訪ゲーム

パッケージ内に秋田県の地図を描き、マカロンが表現する各名所をマークします。消費者はマカロンを食べながら、付属のスタンプやシールを使って訪れた名所を記録することができます。全ての名所を「訪問」すると、オンラインで秋田の特産品を買う際に使える小さな割引クーポンが得られるなど、何らかのリワードを提供することで、実際に秋田を訪れるきっかけにもなり得ます。

3. 秋田方言でのメッセージカード

各マカロンに秋田の方言で書かれたメッセージカードを添付します。カードには方言の意味とその使用シーンが記載されており、プレゼントを受け取った人は秋田の方言を学ぶことができます。これにより、秋田の文化に触れる楽しみが加わります。

4. 秋田の伝統文化クイズ

パッケージに小冊子を同梱し、秋田県の伝統文化や名所に関するクイズを掲載します。クイズを解きながら、秋田の文化や歴史について学ぶことができます。正解者にはオンラインで応募できる形で、秋田の特産品をプレゼントするキャンペーンを実施することも考えられます。

5. 秋田の四季を感じるプレイリスト

QRコードを通じてアクセスできる、秋田の四季をテーマにした音楽プレイリストを提供します。春の桜の下で聴きたい穏やかな曲から、冬の雪景色に合う静かなメロディまで、秋田の四季を感じさせる楽曲をセレクト。マカロンを食べながら、耳でも秋田の美しさを感じることができます。

これらの仕掛けを通じて、お土産を贈った人も受け取った人も、秋田の文化や魅力について会話を楽しみながら、より深い理解を得ることができるでしょう。



収束のプロンプト C-BOX (4/4)

- K1 あなた
このお土産のイメージを、イラストにしてください。

ChatGPTの画像生成機能
 (DALL-E) を使えば、アイデアをイラストに起こすことも簡単です (日本語はまだ怪しいですが。。)

商品開発では、すぐにイラスト化できることは大きな利点ですね!





まとめ AI時代こそ、人間の「問い」が重要な価値をもつ。「問い×AI」は、現代における創造の有力な型である

ChatGPT×創造性というテーマでお話しをさせていただきました。

ChatGPTは情報量×組み合わせパターンによる“アイデア出し”が得意です。その能力は人間を遙かに上回ります。しかし、「問い」のないところに創造性は発揮されません。ChatGPTの能力を活かすには、人間の「問い」が欠かせないのです。

自分は何を面白いと思うのか？自分は何を実現したいと思うか？ChatGPT時代のビジネスマンは、この問いに向き合う必要があります。小手先のアイデア発想術で遊ぶのではなく、自分の内面にある創造性の源泉を再発見すべきです。（そのお手伝いも、ChatGPTがしてくれます！）

前はマーケティング戦略。そして今回は製品開発にChatGPTを活用しました。あらためて、しみじみと、「中小企業こそAIを使い倒すべき」と思います。月数千円の使用料で、有能かつタフな顧問コンサルタントが契約出来るようなものです！

これは生産性の大革命だぞ、というわけで、日本生産性本部では「AIを顧問コンサルとして使う技（仮称）」について研修を予定しております。ご参加をお待ちしております！